

科目ナンバリング											
授業科目名 ＜英訳＞	外国文献研究（文・英）A-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)A-E1					担当者所属 職名・氏名	文学研究科 准教授 大塚 淳				
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月4		配当学年	2回生以上	対象学生	文系向		
【授業の概要・目的】											
物理学を学ぶためには線形代数や微積分の知識が必要となるように、現代の哲学を学ぶためには、論理や集合、確率に関する基礎的な知識が必要不可欠である。本授業では、英米圏の大学初年次向けに書かれた入門書（David Papineau, Philosophical Devices: Proofs, Probabilities, Possibilities, and Sets, Oxford University Press）を講読することで、哲学および分析的思考をする際に最低限必要な形式的知識を身につけることを目的とする。											
【到達目標】											
本書の講読を通して、英文読解の実践的な基礎力を養う。 また集合・論理・確率・様相などといった、哲学・思想的分析で必要とされる形式的道具立てのイロハを学ぶ。											
【授業計画と内容】											
<p>テキストの構成は以下の通り。授業では1章につき1-2回を充て、各回10~15ページほどのペースで講読を進める。あらかじめ担当者を決め、担当部分について解説をしてもらい、内容に関して質疑を行う。受講者が多い場合はグループごとの担当とする。また毎回、章末の練習問題から数問を解いてもらう。</p> <p>Part I: Sets and Numbers 1: Naive Sets and Russell's Paradox 2: Infinite Sets 3: Orders of Infinity Part II: Analyticity, a prioricity, and necessity 4: Kinds of Truths 5: Possible Worlds 6: Naming and Necessity Part III: The Nature and Uses of Probability 7: Kinds of Probability 8: Constraints on Credence 9: Correlations and Causes Part IV: Logics and Theories 10: Syntax and Semantics 11: Soundness and Completeness 12: Theories and Godel's Theorem</p>											
----- 外国文献研究（文・英）A-E1(2)へ続く -----											

外国文献研究（文・英）A-E1(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

以下の三つの点から評価し、その総合点を成績とする。

- （１）要約担当者としての出来 30%
- （２）平常点（議論への参加、課題提出、小テスト含む） 30%
- （３）授業の理解度を試す期末テスト 40%

【教科書】

David Papineau 『Philosophical Devices: Proofs, Probabilities, Possibilities, and Sets』（Oxford University Press）ISBN:9780199651733

【授業外学修（予習・復習）等】

毎回の講読部分（10-15頁程度）について予習し、指定された練習問題を解いてくること。

【その他（オフィスアワー等）】

クラス定員（40名）を超える履修希望者がある場合、初回の授業時に次の順位で選考するので必ず出席すること。

- 1．文学部哲学基礎文化学系 > 基礎現代文化学系 > 行動・環境文化学系の学生
- 2．文学部のその他の系の学生
- 3．他学部生

【主要授業科目（学部・学科名）】